資料１

第２回会議で議論した内容について（たたき台）

基本方針１　市民自治のまちづくり
（1）　市民参加の充実
④　市民参加に資源提供という側面を加えながら、寄付や投資を通じた地域活動支援を拓くなど、市民が市民を支えていく資源循環のあり方を模索します。

整理番号		項目名	コミュニティファンド・基金の設立	所管課	
現在の取り組み	市は、現在、取り組みを行っておらず、また、個人や市民団体の寄付や投資の活動に対する支援も行っていない。				
今後の取り組み	【主な議論】 ● ファンド・基金は、何を目的とするものか→どういう社会を目指すのか。 ● ファンド・基金に誰が投資・出資するのか ● 手法として検討する方法もあるか ● ＰＲをしっかりする必要がある。 ● 医師会など公益的な性格を持つ職業団体への支援などの連携もあるのではないか。 ● 運営主体の検討 ＊オープンな運営＊ボランティアベース＊金儲けではない。＊中間支援組織				
目的	市民が市民を支えていく寄付や投資が進むことで、地域内で市民の資源が循環する環境をつくる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（1）　市民参加の充実

④　市民参加に資源提供という側面を加えながら、寄付や投資を通じた地域活動支援を拓くなど、市民が市民を支えていく資源循環のあり方を模索します。

整理番号		項目名	チャリティ空間の設置	所管課	
現在の取り組み	● 市は、現在、取り組みを行っておらず、また、個人や市民団体の寄付や投資の活動に対する支援も行っていない。 ● フリーマーケットは、リサイクルの推進を目的として実施している。				
今後の取り組み	● 商品は市民に無償で提供してもらうリサイクル品の「チャリティーショップ」をつくる。売上は運営等に充てる。 ● 定期的にフリーマーケットを開く。				
目的	市民が市民を支えていく寄付や投資が進むことで、地域内で市民の資源が循環する環境をつくる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

①　広報やＩＣＴ（情報通信技術）を活用した情報提供の充実を図ります。

整理番号		項目名	情報提供の戦略の策定と実施	所管課	
現在の取り組み	広報しろい、自治会回覧により、印刷された広報資料による情報提供を広く提供するとともに、市ホームページやメール配信サービス、なし坊 twitter により、ICT を活用した情報提供を行っている。				
今後の取り組み	● 情報提供の戦略を策定し、「伝える」ではなく、「伝わる」情報提供を行う。 【戦略で検討するべきこと主な議論】 ● 必要な情報を提供する。*何を/誰に/どうやって（媒体・手法） （媒体）*紙媒体*CATV*YouTube*Facebook*HP （手法）*掲示*ポスティング*回覧*インターネット*マンガ				
目的	市が情報提供することで、情報に困る市民がいない状態をつくる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

①　広報やＩＣＴ（情報通信技術）を活用した情報提供の充実を図ります。

整理番号		項目名	ターゲットを絞った情報提供の実施	所管課	
現在の取り組み	広報しろい、自治会回覧により、印刷された広報資料による情報提供を広く提供するとともに、市ホームページやメール配信サービス、なし坊 twitter により、ICT を活用した情報提供を行っている。				
今後の取り組み	【主な議論】 ● ターゲットをしぼった情報提供を行う。 *子ども広報など				
目的	市が情報提供することで、情報に困る市民がいない状態をつくる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

②　出前講座やワークショップなどを開催し、身近なところから情報の共有を進めます。

整理番号		項目名	情報共有場所・機会・手法の拡大	所管課	
現在の取り組み	● 市職員が市民の学習会場に訪問し、市政の取り組みなどの話しをする出前講座の「なるほど行政講座」を実施している。 ● 市長がまちづくりの課題や問題等について、意見、提案などを市民から直接聴く機会として、市民からの申し込みで開催する「ミニ懇談会」と市が必要に応じて市内全域で開催する「タウンミーティング」を実施している。 ● 重要な条例や計画をつくる場合は、白井市市民参加条例に基づいて、ワークショップなどを開催している。				
今後の取り組み	情報共有場所の場所、機会、手法を拡大し、市民により近い場所で、市民が情報を得られるようにする。 【検討のアイディア】 （機会）*「生涯学習まちづくり」との連携 （場所）*自治会集会所 （ツール）*ワールドカフェ*YouTube、HP などの ICT の活用によるワークショップ *告知の情報もセットで検討				
目的	市民により近い場所で、市民と市が意見交換することで、情報の共有を推進する。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

②　出前講座やワークショップなどを開催し、身近なところから情報の共有を進めます。

整理番号		項目名	広聴白書の作成	所管課	
現在の取り組み	3 か月ごとに市 HP などで、市に寄せられた「意見・要望等処理状況」を報告している。				
今後の取り組み	●　広聴白書をつくり、市民が広聴の情報を知ることができるようにする。				
目的	市民と市がお互いに意見交換をすることで、市民がまちづくりを「自分事」として捉えられるようになる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

②　出前講座やワークショップなどを開催し、身近なところから情報の共有を進めます。

整理番号		項目名	市民からの提案・意見へのポイント制度の導入	所管課	
現在の取り組み					
今後の取り組み	● 市民からの提案・意見にポイント制度を導入することで、市民と市の情報の共鳴を目指す。				
目的	市民と市がお互いに意見交換をすることで、市民がまちづくりを「自分事」として捉えられるようになる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

②　出前講座やワークショップなどを開催し、身近なところから情報の共有を進めます。

整理番号		項目名	市民提案制度の導入	所管課	
現在の取り組み	● 「新たな事業について、市民団体等が提案を行い、選考の結果、団体自らが市から補助や助成などの支援を受けて実施する。」市民活動団体による市民提案制度はある。 ● 「市が実施している従来の事業について、団体等が提案を行い、選考の結果、自らが市から委託等を受けて、市に代わって実施する。」行政サービスを民間事業化する市民提案制度や「新たな事業について、個人・団体が提案を行い、市が実施する。」市民提案制度は整備していない。				
今後の取り組み	● 市民提案制度を導入する。				
目的	市民が市に情報提案することで、市民がまちづくりを「自分事」として捉えられるようになる。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

③　行政課題を抱える市民等に対して、地域に関する情報をわかりやすく提供します。

整理番号		項目名	まるごと相談室の創設	所管課	
現在の取り組み	● 地域で課題を抱える市民の相談について、地域の民生委員・児童委員を紹介している。 ● 本人や家族からあらかじめ登録のあった災害時に支援が必要な人の名簿を民生委員・児童委員や自治会長に提供している。				
今後の取り組み	● 特定のターゲットを対象としない「まるごと相談室（仮）」を創設し、情報と次の対応をつなぐ場とする。運営は子育てや介護の経験を経た団塊世代以上の市民の協力により行う。				
目的	地域で、行政課題を抱える市民等を把握することで、地域の中で、行政課題を抱える市民等を見守る環境が作られるように促す。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

③　行政課題を抱える市民等に対して、地域に関する情報をわかりやすく提供します。

整理番号		項目名	メーリングリストの作成	所管課	
現在の取り組み	● 地域で課題を抱える市民の相談について、地域の民生委員・児童委員を紹介している。 ● 本人や家族からあらかじめ登録のあった災害時に支援が必要な人の名簿を民生委員・児童委員や自治会長に提供している。				
今後の取り組み	● メーリングリストを作成し、そこで情報を発信する。				
目的	地域で、行政課題を抱える市民等を把握することで、地域の中で、行政課題を抱える市民等を見守る環境が作られるように促す。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

③　行政課題を抱える市民等に対して、地域に関する情報をわかりやすく提供します。

整理番号		項目名	なるほど行政講座の推進	所管課	
現在の取り組み	● 地域で課題を抱える市民の相談について、地域の民生委員・児童委員を紹介している。 ● 本人や家族からあらかじめ登録のあった災害時に支援が必要な人の名簿を民生委員・児童委員や自治会長に提供している。				
今後の取り組み	● 「なるほど行政講座」の更なる推進				
目的	地域で、行政課題を抱える市民等を把握することで、地域の中で、行政課題を抱える市民等を見守る環境が作られるように促す。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

③　行政課題を抱える市民等に対して、地域に関する情報をわかりやすく提供します。

整理番号		項目名	地域での市民間の情報共有の推進	所管課	
現在の取り組み	● 地域で課題を抱える市民の相談について、地域の民生委員・児童委員を紹介している。 ● 本人や家族からあらかじめ登録のあった災害時に支援が必要な人の名簿を民生委員・児童委員や自治会長に提供している。				
今後の取り組み	● 小学校区単位のまちづくり協議会などで、ラウンド・テーブル、ワールドカフェを行いながら情報を共有する。				
目的	地域で、行政課題を抱える市民等を把握することで、地域の中で、行政課題を抱える市民等を見守る環境が作られるように促す。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円

基本方針１　市民自治のまちづくり

（3）　情報共有の徹底と可視化

③　行政課題を抱える市民等に対して、地域に関する情報をわかりやすく提供します。

整理番号		項目名	地域による施設管理の実施	所管課	
現在の取り組み	● 地域で課題を抱える市民の相談について、地域の民生委員・児童委員を紹介している。 ● 本人や家族からあらかじめ登録のあった災害時に支援が必要な人の名簿を民生委員・児童委員や自治会長に提供している。				
今後の取り組み	● 施設管理を地域に任せ、地域に情報が行き届くようにする。				
目的	地域で、行政課題を抱える市民等を把握することで、地域の中で、行政課題を抱える市民等を見守る環境が作られるように促す。				
完了目標時期					

実施内容	実施スケジュール					
	平成 30 年度		平成 31 年度		平成 32 年度	

	目標	実績
平成30年度	円	円
平成31年度	円	円
平成32年度	円	円
合 計	円	円